

れいわねんど
令和4年度
ぶんかげいじゅつ こどもいくせいすいしんじぎょう じゅんかいこうえんじぎょう
文化芸術による子供育成推進事業—巡回公演事業—
<児童劇公演>

公益社団法人教育演劇研究協会
劇団たんぽぽ

おはなしレストラン



「文化芸術による子供育成推進事業—巡回公演事業—」

我が国の一連の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞することにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



劇団たんぽぽは・・・

1946年、戦争が終わり、大きな町が焼け野原になり、食べ物もなく、やせた子どもたちが日本中におおぜいました。「子どもたちの元気な顔が見たい」と、長野県篠ノ井で小百合葉子を中心に子どものための劇を見せる児童劇団「劇団たんぽぽ」をつくりました。はじめのうちはリュックサックに衣裳や道具をつめて、子どもたちのところに行つて劇を見せました。1953年、静岡県浜松市にひっこしました。1955年、公演活動を認められ、文部省（当時）という国の機関から公益法人格が許可され、社団法人教育演劇研究協会をつくりました。北海道から沖縄まで、主に小・中学校で劇をしています。その他にも先生のための「朗読勉強会」や「学校での表現活動」「演劇ワークショップ」「クリスマス公演」など、教育演劇研究協会としての活動もしています。2012年、公益認定が受理され公益社団法人になりました。

し 知ってますか？～10月1日は「国際音楽の日」です～
1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

おはなし レストラン

おはなしレストランへようこそ!
きみにピッタリの
きょうう
今日のメニューは、これ!

原作／ブレーメンの音楽隊・大きなかぶ
脚色／宮田恵紀子 演出／村岡由美子
音楽／村岡由美子 美術／柿平衣名美
衣裳／柿平衣名美 照明／真野亮文
制作／上保節子



おはなし

ある時、ふと、あらわれる、ふしきぎなレストラン。
このレストランでお出しするのは、食べ物のお料理では
ありません。お客様にピッタリのお話をご用意する、
その名も「おはなしレストラン」。

ある日、使いこまれたランドセルを背負った男の子がやって
きました。

「このランドセルがピカピカだったころ、ボクはなんでもで
きるような気がしていた。でも…。」

ふう一つ、ため息をついたその時に、レストランは現れる。
「いらっしゃいませ。おはなしレストランへようこそ。

きみにピッタリの、今日のメニューは、これ!
さて、扉を開けたその先で、男の子を
まことに待っていたお話は…。

Today's Menu

- ・おおきなかぶ
- ・ブレーメンの
おんがくたい
音楽隊

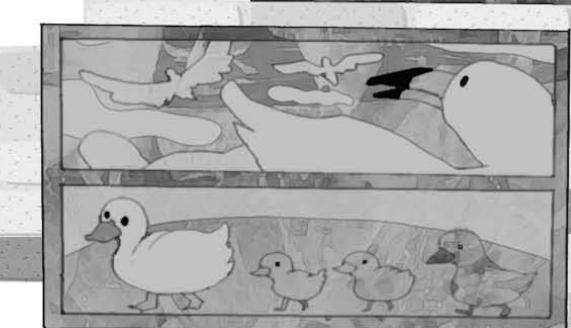


ブレーメンへの旅で

このお芝居では、年をとって役に立たなくなった、ロバ、ネコ、ニワトリの三びきが、
「まだまだ人生これからだ。パッと花を咲かせよう」と、ブレーメンに向かって冒険
の旅に出ます。この三びき、ブレーメンのことは何も知らないのですが、「やって
みなくちゃ分からぬ」、とどこまでも楽天的です。

夢が持てなくて悩んでる少年が、犬役として、そんな三びきといっしょにいくこと
になります。

こうしてはじまるブレーメンへの旅で、少年と三びきの動物たちのあいだに何が
生まれ、どうかわっていくのか?
——それは見てのおたのしみ。



絵／柿平衣名美